

5. SYMPHONIE

京都フィロムジカ管弦楽団

第33回定期演奏会



KYOTO
ART
CENTER

京都芸術センター

京都芸術センター
制作支援事業

チャイコフスキー／交響曲第5番
ドヴォルジャーク／交響曲第5番

2013年6月16日(日)

午後1時開場 2時開演

1:15よりロビーコンサートを開催

京都府長岡京記念文化会館



指揮：池田 俊

前売券:800円(当日券:900円) 全自由席

【チケット取り扱い】

京都府長岡京記念文化会館、JEUGIA(三条本店5F、APEX弦楽器)

京都芸術センター(窓口販売のみ10:00-20:00)

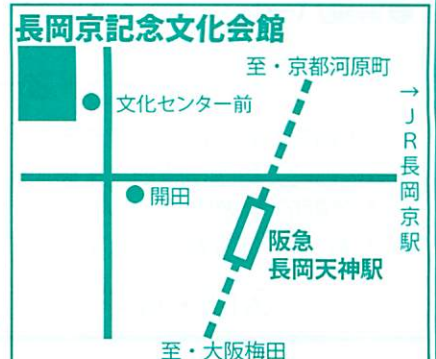
※ホームページでのチケット予約も可能です <http://www.kyotophilos.com/>

【お問い合わせ】 080-5709-9441 ticket@kyotophilos.com

- お車でのご来場はご遠慮ください。
- 乳幼児等就学前のお子様のご同伴、ご入場は固くお断りいたします。
- 係員の指示に従って頂けない場合はご退場いただくことがあります。

主催：京都フィロムジカ管弦楽団

後援：長岡京市教育委員会、京都新聞・京都新聞COM、KBS 京都



阪急・長岡天神駅下車 徒歩8分。
JR・長岡京駅よりバス7分、「開田」
または「文化センター前」下車すぐ。

京都フィロムジカ管弦楽団 第33回定期演奏会

京都フィロムジカ管弦楽団定期演奏会、今回は2つの「交響曲第5番」を皆様にお届けします。

1曲目はチャイコフスキーの交響曲第5番。クラシック音楽の中でもとりわけ人気の高い作品ですが、関西の音楽愛好者にとっては、関西の音楽文化の礎を築いた巨匠・朝比奈隆が生涯最後に演奏した曲としても忘れられない作品です。

2曲目はドヴォルジャークの交響曲第5番。ドヴォルジャークの交響曲は7番、8番、9番という後期の作品が有名ですが、この第5番はめったに演奏されません。しかしながら、気持ちの良い風が吹き抜けるような爽やかさと、簡潔でわかりやすい構成美を兼ね備えた、知られざる傑作です。必ずや皆様にご満足いただけることでしょう。

指揮はフィロムジカの常連指揮者・池田俊氏。東欧での活動も多い氏の指揮によって、ドヴォルジャークの魅力が余すところなく伝えられることでしょう。また、名門・大阪フィルの首席奏者として、朝比奈隆はじめ多くの名指揮者とチャイコフスキーを演奏してきた池田氏が、どのようなチャイコフスキーを演奏してくれるのか、興味は尽きません。

指揮 池田 俊 (いけだ しゅん)

兵庫県西宮市生まれ。大阪音楽大学において指揮法を研鑽、トランペットを斉藤広義氏に師事。1970年、大阪音楽大学卒業、第40回読売新人演奏会に出演。卒業後、大阪フィルハーモニー交響楽団からのオファーを受け入団。在団中、ドイツのデトモルト国立音楽大学へ留学。指揮法、室内楽、トランペットを学び、再び大阪フィルに首席奏者として迎えられる。大阪シュベルマー金管アンサンブルのコンサートにおいて指揮とトランペットを兼ね[奨励賞][本賞]を受賞。1995年、大阪フィルを退団し本格的に指揮活動に入る。

1997年、プリズベン国際プラス・フェスティバルに招かれ、クインズランド音楽院でのマスター・クラスでオーケストラに関する演奏法やソロの指導と共にコンクールの審査も務める。

1998年、関西フィルハーモニー管弦楽団と共に池田俊 指揮者デビュー・コンサートを開催し、「豊かな音楽性を持つ才能ある指揮者！」と絶賛され、[神戸子]のブルーリボン賞候補に指揮部門でノミネートされる。2001年、ブルガリア国立室内オーケストラを指揮し好評を得る。2004年、ブルガリアに渡欧し、第1回ワークショップにおいてブルガリア国立ソフィア・フィルを指揮しディプロマを授与。2009年、ウクライナのキエフ(リーゼンコホール)においてウクライナ国立交響楽団を指揮し、スタンディングオベーションを受ける。また関西フィル、大阪交響楽団、広島交響楽団、奈良フィルハーモニー管弦楽団、エウフォニカ管弦楽団、ウインドカンパニー管楽オーケストラ等で指揮。近年は大阪市音楽団からも招かれている。アマチュアの分野においては、京都フィロムジカ管弦楽団、橿原交響楽団、墨染交響楽団、八尾フィルハーモニー交響楽団、立教大学交響楽団、西宮市吹奏楽団、等で客演指揮者として招かれている。現在はプロ、アマを問わない多彩な指揮活動を行い、特にアマチュアのオーケストラや吹奏楽団などからは演奏向上に力を注いでいる“下町の名指揮者”として評価を受けている。

日本指揮者協会会員。高知大学交響楽団名誉指揮者。香芝シティ室内オーケストラ専任指揮者。JAPANアカデミー・トランペットアンサンブル指揮者・音楽監督。奈良教育大学非常勤講師。

管弦楽 京都フィロムジカ管弦楽団

1996年創立。知名度の低い傑作に光を当てる斬新な選曲を身上としており、日本初演・関西初演も多く手がける。遠く北海道や九州からも聴衆が駆けつけるなど、その姿勢は全国的に注目されている。また、若々しい熱気を前面に出した激しい演奏に定評がある。年2回の定期演奏会のほか、依頼を受けての演奏会も精力的にこなす。特定の母体を持たない珍しいアマチュアオーケストラで、団員の本業や出身地は様々であり、関東や東海など遠方在住の参加者もいる。学生オーケストラの経験のない人や大人になってから楽器を始めた人など楽器歴も様々に異なる奏者たちが集って音楽を作り上げている。団名の「フィロムジカ」は、「音楽を愛する」という意味の造語である。

新入団員大募集中！

～私たちと一緒に演奏しませんか？ まずはお気軽に見学にお越しください。団員一同、お待ちしております。～
私たち京都フィロムジカ管弦楽団では、第36回定期演奏会(2014年度・冬期)で、ショスタコーヴィチの大作「交響曲第12番」の演奏を目指しており、それに向けて団員を増強しています。「一緒に演奏したい！」という皆様のご参加をお待ちしています。

●募集パート ヴァイオリン・ヴィオラ・チェロ(弦楽器急募！！)

フルート・オーボエ・ファゴット・トランペット・打楽器

【参加資格】練習に出席できること。年齢制限はありません。学生の参加も歓迎します

【練習日時】毎週日曜日(午後1時～午後5時) 春と秋に練習合宿(大津市内)

【練習場所】京都芸術センター、河原町丸太町・荒神口周辺など京都市内各所のほか、大津市など

【諸費用】活動費：3,000円/月 合宿費：10,000円程度 演奏会参加費：20,000～30,000円(学生は半額)

入団・見学に関するお問い合わせ先 E-mail: recruit@kyotophilos.com

Webサイト (<http://www.kyotophilos.com/>) では、過去の演奏曲も紹介しております。是非一度ご覧ください。

<お知らせ> 京都フィロムジカ管弦楽団 第34回定期演奏会：2013年12月22日(日) 八幡市文化センター